

## ワイヤ放電加工機

- 主なスペック:** 最少駆動単位 0.01  $\mu\text{m}$  (リニアモータ)  
 ワイヤ電極経 0.05~0.3 mm  
 最大加工物寸法 幅600 mm×奥行470 mm×高さ240 mm
- 装置の特徴:** 金属材料を描いた図面通り(2次元)に切り抜く事が可能。  
**主な対応試料:** 金属材料(アルミ、銅、ステンレス、など)  
**関連情報:** ソディック AL400G  
**担当:** マクロ材料加工ユニット 富樫千穂



装置詳細



図1:ワイヤ放電加工機

## 装置概要・アピールポイント

- 2024年度利用を開始した千現工作機械群内の最新装置。(図1)
- 操作画面上に図を描き、何点かの項目(材質、材料の厚み、ワイヤの情報、切断回数など)を選択するだけでプログラム作成が可能。(図2)
- 最良面荒さ、Ra0.33  $\mu\text{m}$ 。(厚さ5 mm以下の一般鋼材で選択)(図3)
- 繰り返し精度は、 $\pm 0.005$ 範囲内(新規材料の厚さ20 mm程度 1回切り)
- 図4は、試験片を加工中の様子。図5は、この装置で加工した物の一例。
- 切削加工が難しい材料、新規開発材料のテスト加工に最適な装置。

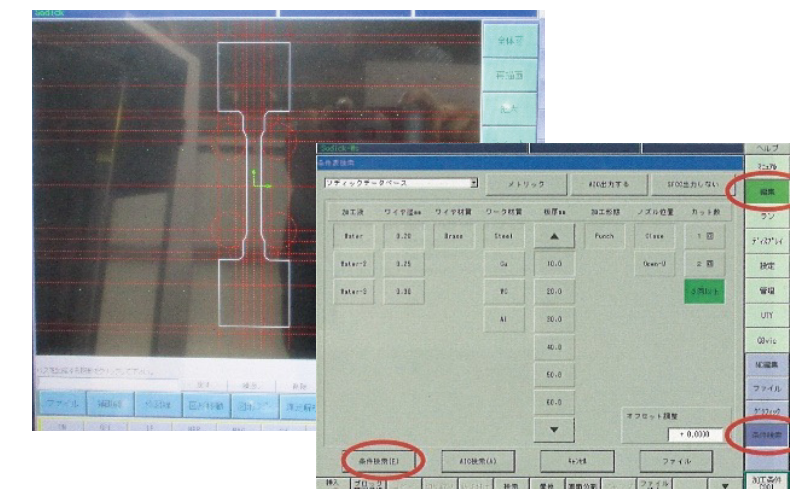


図2:「加工する図の作成画面」と「材質、材料の厚みなど選択する画面」

0.2 mm~2 mm程度の厚さの材料を2~50枚程度まで重ねて固定する事で、同形状のものを一度に切り出す事も可能な装置。

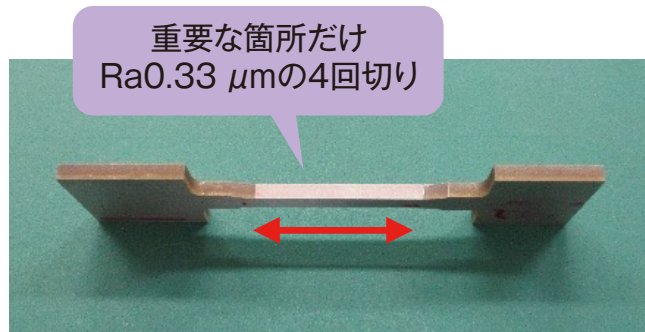


図3:面荒さの差

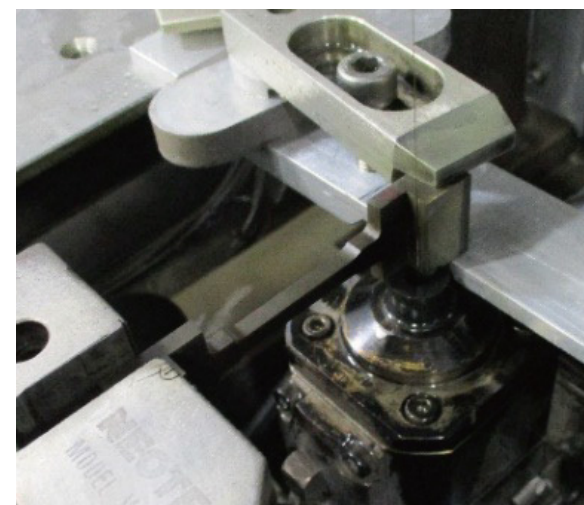


図4:引張試験片の加工の様子

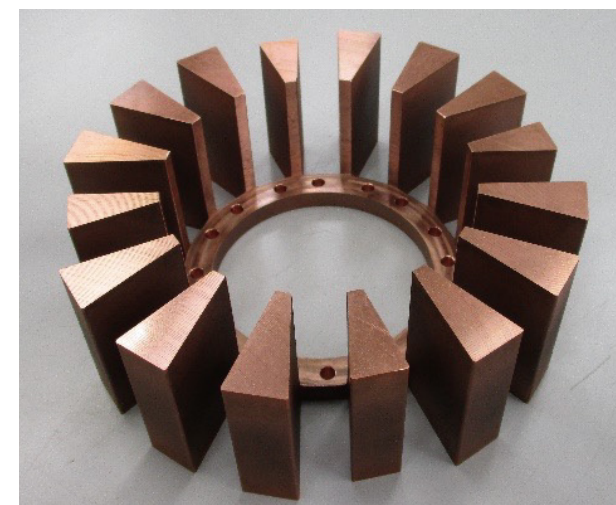


図5:Eddy current damping part